

5

総合的な学習の時間：3つの単元の流れと様子（全70時間）

①さとうきびの植え付け



地域の方の協力を得て植え付け  
大きく育つといいな・・・

②さとうきびについて知る



さとうきびについて調べる中で  
環境に優しく  
エコな植物だと気づく

③環境問題の存在を知り調べる



環境問題ってこんなにあるんだ・・・

④環境問題について詳しく知る



環境問題解決に  
取り組んでいる人達がいるんだ・・・

⑤農業研究センターで学ぶ



さとうきびの専門家に話を聞いて  
自分達にできることはないか・・・

⑥さとうきびの良さを伝える祭り  
の企画を考え・みんなで会議



よりよい企画にするには  
の視点でアドバイスを・・・

⑦黒糖作り



育てたさとうきびから  
黒糖作り

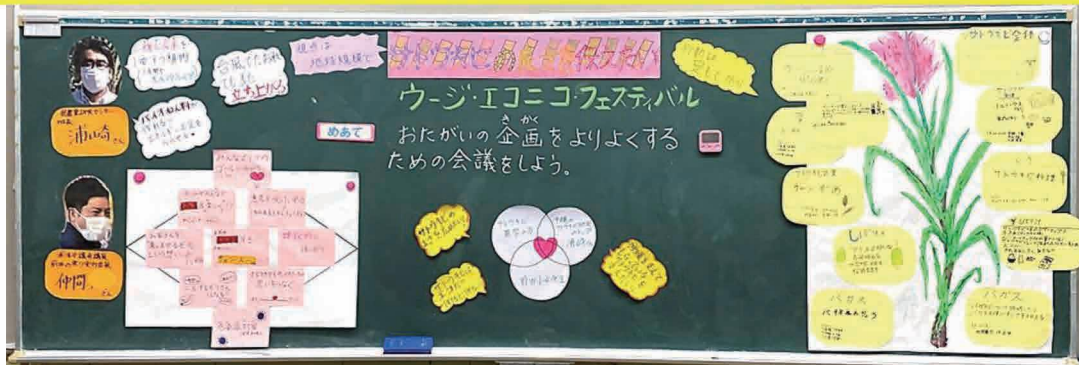
⑧ウージエコニコフェスティバル



企画の実践お客様に  
さとうきびの良さを伝えるぞ！

6

社会科：「エコニコ大作戦」研究授業の様子（本時：11/28時）



各グループが企画  
をプレゼンする。

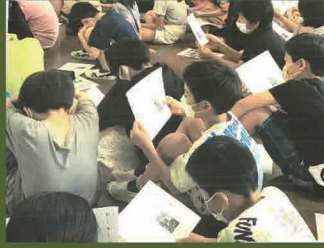


プレゼンに対してPMI  
シートに記入したものを  
発言する。

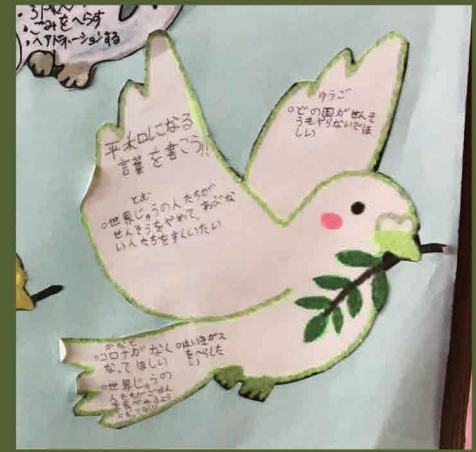


児童が、困ったときに話し  
合わせたり、他者の意見を  
繋いだりする。

## 学習観の共通理解



## 平和集会



## 地域人材を生かした特設授業



性教育講話



前田棒（運動会）

## 〈児童の姿〉

・児童の疑問や考えたこと、ふりかえりを基にして授業を展開したことで、児童自身で主体的に学ぶ姿が見取れた。

・批判的思考をもって「よりよくするために」という視点で建設的なアドバイスをおくることができた。（批判的に考える力）

・自ら気付いたことに取り組む事で、進んで参加する態度が高まった。

・「サトウキビはエコだ」ということに気づき、環境を良くするためにサトウキビの良さを広げることが、環境問題を解決する一助となる有効な方法を自ら生み出すことができた。

## 〈授業づくり〉

・地域の方々や外部講師を意図的に活用することで、児童の思考を止めずに授業を展開することができた。

・カリキュラムマネジメントを行って授業づくりに取り組んだことで、児童の思考をとどめずに広げることができた。

## 〈研究主題〉

・会議という場の設定で取り組む事で、自分自身の発言に責任をもち、主体的に参加し、伝え合うことができた。

## 〈児童の姿〉

・「批判的思考」を授業だけでなく日常的に活用する態度を養いたい。

→児童が「批判的思考」をみせた場面を見取って積極的に価値付けること。

## 〈授業づくり〉

・学年全体で一体感を持ち、もっと考えを広げたり、深めたりする場の設定。

→グループでの活動、学級内での話し合いにとどまらず、学年をプールにした活動に取り組む。

## 〈研究主題〉

・自分の考えをもつことはできるが、上手に伝えきれない児童がいる。

→よりよい学習観を意識し、子ども同士を関わらせる場を多く持つ。